

## 小中一貫教育の視点について意見要旨

## 1 施設一体型小中一貫校に対するメリットデメリット

## (1) メリット

- ・ 中一ギャップの解消
- ・ 下級生における上級生への憧れ
- ・ 上級生における下級生への思いやり
- ・ 教員の情報共有
- ・ 小学生と中学生の両方を持つ保護者は行事等の負担軽減

## (2) デメリット

- ・ 小学校から中学校へ進学する節目の喪失
- ・ 小学校6年生のリーダーシップの喪失
- ・ 人間関係の固定化
- ・ 小学生が中学生から悪い影響を及ぼされる恐れ
- ・ 小学校低学年と中学生の体格差からの安全面の危惧
- ・ 行事の調整が煩雑となる

## 2 施設隣接型小中一貫校に対するメリットデメリット

## (1) メリット

- ・ 小学校から中学校へ進学する節目がある
- ・ 児童・生徒が別の場所となり、小学校低学年の安全性が確保される

## (2) デメリット

- ・ めざす生徒像を共有することが困難であり、小中一貫教育を推進する上で課題
- ・ 一体型と比べて建設コスト等が増加する。
- ・ 人間関係の固定化

## 3 施設分離型小中一貫校（単一小学校・単一中学校）に対するメリットデメリット

## (1) メリット

- ・ 小学校から中学校へ進学する節目がある
- ・ 児童・生徒が別の場所となり、小学校低学年の安全性が確保される
- ・ 学校の独自性が保たれる

## (2) デメリット

- ・ めざす生徒像を共有することが困難であり、小中一貫教育を推進する上で課題
- ・ 一体型と比べて建設コスト等が増加する。

#### 4 施設分離型小中一貫校（複数小学校・単一中学校）に対するメリットデメリット

##### (1) メリット

- ・ 小学校から中学校へ進学する節目がある
- ・ 児童・生徒が別の場所となり、小学校低学年の安全性が確保される
- ・ 学校の独自性が保たれる
- ・ 複数の小学校から中学校へ進学するため、新鮮味がある

##### (2) デメリット

- ・ 中一ギャップの解消にはならない
- ・ めざす生徒像を共有することが困難であり、小中一貫教育を推進する上で課題
- ・ 一体型と比べて建設コスト等が増加する。
- ・ 複数の小学校により学力差が生まれる

#### 5 その他の意見

- ・ 義務教育学校でなくては小中一貫教育を推進するのは難しい
- ・ 隣接する学区域に一体型と分離型に分けた場合、指定校変更による偏りが発生する可能性がある